

令和8年9月17日

学校保健委員会挨拶

皆様、こんにちは。本日は、お忙しい中、葛城市立新庄北小学校の学校保健委員会にご参加いただき、誠にありがとうございます。保護者の皆様、地域の皆様には、日頃から本校の教育活動、そして子どもたちの健やかな成長を温かく支えていただいておりますことに、心より感謝申し上げます。



さて、本校は今年、創立50周年という大きな節目を迎えています。先日の第2学期始業式には、本校の卒業生で、現在、自転車競技で活躍されている戸倉誠大さんに来校していただきました。戸倉さんからは、ご自身の経験をもとに、夢に向かって挑戦すること、そして努力を積み重ねることの大切さについて、子どもたちにお話しいただきました。また、創立50周年記念ピアノコンサートでは、同じく本校の卒業生であるピアニストの石口友登さんに、素晴らしい演奏を届けていただきました。石口さんが母校の体育館で奏でる音楽に、子どもたちは真剣に耳を傾けていました。



分野は違いますが、お二人に共通しているのは、「自分の夢や目標に向かって、日々の積み重ねを大切にしている」ということではないかと思います。そして、その「積み重ね」を支える土台となるのが、やはり心と体の健康です。どれだけ大きな夢や目標をもっていても、その力を十分に発揮するためには、しっかり体を動かすこと、しっかり食べること、そしてしっかり眠ることが欠かせません。これは特別なことではなく、毎日の生活の中にある、とても基本的なことです。しかし、スマートフォンやゲーム、動画など、子どもたちを取り巻く生活環境が大きく変化している今だからこそ、その「当たり前」を学校と家庭、そして地域が一緒になって改めて考えることに、大きな意味があると感じています。　本日は、まず本校の健康面の実態や体力テスト、健康診断の結果などから、子どもたちの現在の姿を見つめていただきます。その後、葛城市健康増進課の皆様から、「家族で考える生活習慣～運動と睡眠のお話～」をテーマにお話しいただきます。今日のお話を、「子どもにもっと運動させなければ」「もっと早く寝かせなければ」ということだけで終わらせるのではなく、ぜひ、「家族みんなで健康について考えるきっかけ」にしていただければと思っています。

戸倉さんや石口さんも、ある日突然、今の姿になったわけではありません。毎日の練習、毎日の生活、そして周囲の方々の支え。そうした一日一日の積み重ねが、現在につながっているのだと思います。

創立50周年を迎えた新庄北小学校の子どもたちが、これからどのような夢をもち、どのような未来へ羽ばたいていくのか、私たちはとても楽しみにしています。その未来を支えるためにも、まずは「元気な心と体をつくる毎日の生活」を、学校・家庭・地域が一緒になって大切にしていきたいと思います。本日の学校保健委員会が、子どもたちのこれからの生活を考える有意義な時間となりますことを願いまして、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。